

みどりの 通信



2022

10

NO.503

ユニフォームが新しくなりました



10月より事務職員の制服がリニューアルされました。
ベストのデザインは、上品な印象を与える紺色を選定しました。

お困りのことがございましたらお気軽にお声がけ下さい！

【理 念】キリスト教精神に基づく「隣人愛」

【経営方針】この地域にしっかりと根ざし、住民に信頼される病院づくり



社会福祉法人 聖隷福祉事業団

医療保護施設

総合病院 聖隷三方原病院

SEIREI MIKATAHARA GENERAL HOSPITAL

〒433-8558 浜松市北区三方原町 3453

TEL 053-436-1251 (代) FAX 053-438-2971

おしらせ



新任医師の紹介



救急科
よしおか よしあき
吉岡 義朗

(東京医科歯科大学 2016年卒)



外科
こなか りゅうのすけ
小中 龍之介

(神戸大学 2018年卒)



外科
とりこえ りくや
鳥越 陸矢

(福井大学 2018年卒)



リハビリテーション科
うめばやし けんこ
梅林 建吾

(福井大学 2020年卒)



呼吸器内科
しもた りょう
霜多 凌

(浜松医科大学 2020年卒)



呼吸器内科
すぎやま ひろき
杉山 裕樹

(浜松医科大学 2020年卒)



腎臓内科
ともだ あつや
友田 敦也

(浜松医科大学 2020年卒)

選定療養費改定について

2022年4月の診療報酬改定により、200床以上の地域医療支援病院では、紹介状をお持ちでない患者さんに対し、以下の徴収が義務付けられました。

初診時 選定療養費

○紹介状をお持ちでなく受診する場合や、
『新たな診療科を』受診される場合

2022年9月30日まで

5,500円(税込)



2022年10月1日から

7,700円(税込)

再診時 選定療養費

○当院から他の医療機関へ紹介を行った後も、
『患者さんの意思で』受診を希望される場合

2022年9月30日まで

2,750円(税込)



2022年10月1日から

3,300円(税込)

皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

がん、肝炎、糖尿病等の疾病により 長期にわたる治療が必要な求職者の皆様へ ～ハローワーク浜松による就職支援のご案内～

患者さんの悩み・不安にハローワーク浜松の就職支援ナビゲーターがアドバイスします！

日 時：10月19日(水) 10:00～12:00

場 所：聖隷三方原病院 よろず相談地域支援室

お問い合わせ：医療相談室

電 話：053-439-9046

※事前予約可能です。医療相談室にて予約ください。

あれ!?これって…
認知症?

認知症相談会

認知症の人には
どう接したらいいの?

認知症に関する相談を、認知症看護認定看護師、医療ソーシャルワーカーがお受けします。ひとりで悩まず、ご相談ください。

日 時：10月27日(木) 14:00～17:00

※事前予約制、30分程度/1件

場 所：聖隷三方原病院 よろず相談地域支援室

申し込み：医療相談室(よろず相談地域支援室内)

電 話：053-439-0006

受付時間：月～金 8:30～17:00

主 催：聖隷三方原病院 浜松市認知症疾患医療センター

人間ドックのご案内

聖隷予防検診センター

お申し込み：

【予約受付時間】

0120-938-375

◆月～金曜日 9:00～16:30

◆土曜日 9:00～12:00

がん相談支援センターからのお知らせ

がん患者さん等のための 就労に関する相談会

静岡産業保健総合支援センターから派遣された両立支援促進員と当院の相談員がご相談をお受けいたします。

予約制

日時：10月13日(木) 13:00~16:00
場所：聖隷三方原病院 よろず相談地域支援室
対象：患者さんとご家族

おしゃべり会「じゃがいも」

同じ病気を抱えている患者さんといっしょにお話してみませんか？おしゃべり会はみなさんで体験をわかちあい、支えあう会です。

日時：10月27日(木) 13:30~14:30
場所：Web開催
内容：Web会議ツールを使用し、Web上で話をいたします。詳しくは病院HPをご覧ください。
参加費：無料 (Web通信に伴う費用につきましては、ご利用者様負担)
申込み：がん相談支援センター(053-439-9047)へお電話にてお申込みをお願いします。

最新情報はこちら→



お問い合わせ：よろず相談地域支援室内
がん相談支援センター
電話：053-439-9047

季節のレシピ

栄養課通信 10月

～ さんま ～

さんまの旬は9月～10月でDHAとEPAが豊富に含まれています。これらの脂質は血液をサラサラにする作用、動脈硬化、高血圧、脂質異常症、認知症の予防に有効です。ビタミン類ではビタミンB6・B12、ビタミンDが多く含まれており、ビタミンB6は健康な髪や皮膚・歯を作り、ビタミンB12は精神を安定させる働きがあります。またビタミンDは、骨粗鬆症を予防します。

簡単！旬のレシピ

当院のメニュー

「さんまのさんが焼き」

をご紹介します

《栄養価1人当たり》

エネルギー	204 kcal
たんぱく質	9.7 g
脂質	13.1 g
食塩相当量	1.6 g

2人分

さんま……………1尾
ねぎ(みじん切り)…1/4本分
白ごま……………大さじ1/2
青しそ……………4枚
サラダ油……………少々
A 醤油……………大さじ1/2
みりん……………大さじ1/2
酒……………大さじ1/4
味噌……………大さじ1/4
片栗粉……………大さじ1
しょうが(すりおろし)
……………小さじ1/2
大根(すりおろし)…適量
醤油……………少々
七味唐辛子……………少々

作り方

- ①さんまの頭を切り落とし、背わたをとり、3枚におろす。
- ②すり鉢にさんまを入れ、Aを加えてすり混ぜる。ねぎとゴマも加えて混ぜ、4つの小判型にまとめる。片面に青しそを貼り付ける。
- ③フライパンにサラダ油を熱し、②をこんがりと両面焼く。
- ④器に盛り付けて、大根おろしを添えて醤油をかけて七味唐辛子を振る。

★ポイント★

- ★焦げやすいので、火の加減に注意しながら焼きましょう。
- ★さんまはくちばしが黄色く、目が澄んでいて、お腹が太く重い方が新鮮で脂がのっています。

栄養課 管理栄養士 藤野 弘子

麻酔科・ ペインクリニック外来について

麻酔科
かとう しげる
部長 加藤 茂
こばやし あつし
医長 小林 充

ここ一年麻酔科医の減員でペインクリニック関連の業務が若干縮小気味でありましたが、4月よりペインクリニック専門医が赴任しましたので、今後は患者さんの治療に大いに貢献できると思っています。

麻酔科の仕事は手術に対して安全な手術環境を提供することです。具体的には麻酔薬や神経ブロックにより手術の痛みを鎮め、手術中におこる出血など患者さんに起こりうる反応に対処することです。また、麻酔で生体の反応を抑えたことによる呼吸の状態を正常化、換気の低下や低血圧を防止します。そして、外科医が術野でスムーズに手術をやり遂げられるようにします。手術後の痛みや異常反応を抑え、患者さんの早期回復をめざします。もちろん、全てを成し遂げることは麻酔科医だけでは出来ませんが、手術室の看護師、臨床工学士、検査技師などのスタッフとコミュニケーションを取り合い、患者さんの安全を守っています。COVID-19下でマスクを外すこともなく、直接、患者さんのお顔を拝見することは出来ませんが“縁の

下の力持ち”として動いています。

以下、ペインクリニック専門医の小林充医師からペインクリニック外来の紹介をさせていただきます。

(加藤茂)

日本は世界有数の長寿国ですが、多くの人が何らかの痛みを抱えながら生活しています。本来痛みは身体にとっての異常を知らせる警告信号の役割を持ちますが、病気やけがの改善とともに軽減します（急性痛）。しかし、警告の役割を終えた痛みがいろいろな理由で長く存在することがあり、身体的/精神的/社会的要因が複雑に関与して生活の質を低下させます（慢性痛）。このような状態に陥った時は身体的/精神的苦痛を適切に和らげることが重要になります。

ペインクリニック科では、症状や身体所見などから多角的に痛みの原因を検索し、薬物療法や神経ブロック（痛み止めの注射:写真は硬膜外ブロック）など各種の治療法を組み合わせることで痛みを軽減させ生活



の質を向上させます。治療困難な痛みでは、複数科の医師、看護師、薬剤師、理学・作業療法士、公認心理士など痛み診療に関わる多くのスタッフと協力して最適な治療を模索します。

また、当院ではホスピス・緩和支援治療科とも連携して癌性疼痛の緩和にも積極的に取り組んでいます。癌患者さんの約7割は何らかの痛みを感じており、患者さんにとって痛み治療は重要な求めとなります。慢性痛にしても癌性疼痛にしても、全ての患者さんが痛み少なく生活し治療に専念できるようになることがペインクリニック科としての願いであり、それを叶えるべくスタッフ一同日々励んでいます。痛みについてお困りのことがあれば、一度ご相談ください。

(小林充)



《当院スタッフ》



病院で働く人たち

病棟クラーク



病棟クラークは、各病棟に配属されている事務スタッフです。仕事内容は、ナースステーションでの電話対応、入院患者さんの手続き書類作成、病棟で使用する薬品・物品の



請求管理など多岐に渡ります。医師や看護師をサポートする仕事であり、医療関係者の仕事を間接的に支え、病院全体の業務を効率化する役割「縁の下の力持ち+病棟のなんでも屋」を担っています。お困りのことがございましたらお気軽にお声がけください。

看護外来のご案内

看護外来では、患者さんやご家族がその人らしい生活をスムーズに送れるよう、専門的な知識、技術を持った看護師が相談をお受けしています。

看護外来は予約制です。

- ・ ストーマ外来
- ・ がん看護外来
- ・ 皮膚・排泄ケア外来
- ・ 助産師外来
- ・ フットケア外来
- ・ 母乳外来



お問い合わせ先

よろず相談地域支援室（看護相談室）

TEL:053-436-1251（代）